※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１３

令和５年度　芸術　科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「表現」における＜絵画、デザイン＞、「鑑賞」の分野について高校美術の応用を学習します。
・美術への理解、教養を高め、楽しみながら表現を学んでいきましょう。授業では自主性、能動的な取り組みを重視します。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 素材の特質や、制作工程などを理解している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	・教科書、先輩の作品などを鑑賞し、多様な表現形式について学んで「美術Ⅱ」の学習イメージを持つ。 ・学習目標・評価方法について理解する。	a:本校生、教科書の作品を鑑賞し、学習内容、授業の進め方を理解する c: 多様な表現の作品に興味を持ち、制作意欲を高めているか	観察		観察
	絵画模写	絵画（アクリル） ・教科書や画集の作品を見て参考にする画家の作風を学ぶ。 ・色の作り方、構図、マチエールなどそれぞれ画家の特徴を知り、学習する。	a: 画家の作品を鑑賞し作風や技法への理解を深めているか。 b: ワークシートで学んだことを作品制作に生かそうとしているか。 b: 創造的な表現を工夫し作品に取り組んでいるか。 c: 多様な表現に興味関心を持って題材に取り組んでいるか。	ワークシート	製作途中作品 完成作品	観察 製作途中作品 完成作品
	鑑賞	・完成した１学期の自作について発表する ・他の生徒の作品を鑑賞し、意見を発表しまとめる	b: 美術作品などのよさや美しさを感じ取っている。 c:他の生徒の作品について興味､関心を持って交流している。	レポート	レポート 観察	レポート 観察
2学期	デザイン・工芸	・陶芸　陶箱	a: 陶土の特質を理解し造形的表現を構想できているか b: 機能的なデザインを考え、美しさと機能を共存させているか。 b:創造的な表現を工夫し､丁寧に作業できているか。 c: 陶芸の面白さに興味を持ち題材に取り組んでいるか	ワークシート 観察	製作途中作品 完成作品 観察	観察 完成作品
3学期		・一版多色刷（版画的表現）	a: 版画の特性や工程を理解し、注意しながら制作表現できているか。 b: 一版多色版画制作することを念頭にデザインを設定できているか c: 版画表現に興味を持ち、題材に取り組んでいるか。	観察 制作途中作品 完成作品	制作途中作品 完成作品	観察 制作途中作品 完成作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度